

施策番号	9
------	---

施策評価シート（評価対象年度：令和4年度）

基本政策	2	健康・福祉
主要施策名	9	地域福祉
5年後のまちの姿	<p>○“向こう三軒両隣”の関係のように、お互いを気づかい支え合う、人にやさしいまちになっています。</p> <p>○住民主体の支え合い活動を通じて、各種の生活支援サービスを含んだ共助を担う組織が地域の中に生まれてきています。</p>	
施策展開の基本的な考え方	<p>行政は、地域の支え合い活動等に対する支援と公的福祉サービスのきめ細かい運用の両輪により、広く困難を抱える市民を支える体制を構築します。</p> <p>市民等は、近所の様子を気にかけて、困った人にはお互いさまの精神で支援を行う地域づくりに取り組みます。</p>	
実現に向けた取組	<p>①地域における異変発見の体制づくり</p> <p>②住民による支え合い活動の推進</p> <p>③複合的な課題に対応する専門的な体制の強化</p> <p>④分野の壁を越えた情報交換や交流の促進</p>	
施策担当課・係	福祉介護課 地域福祉係	
施策関係課・係	総合政策課 行革協働係	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	69,060				
事務事業数	5				
うち、事務事業評価対象	5				

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度最終目標
地域支え合いサポーター認定者数〔累計〕	人	57	57					68
多世代交流対応型サロンの数〔累計〕	か所	1	1					4
コミュニティソーシャルワーカー認定者数〔累計〕	人	17	17					17
旧小学校区等（15地区）ネットワーク会議開催地区数〔年間〕	地区	0	0					15

成果指標による現状分析	<p>市が策定する第4期胎内市地域福祉計画と社会福祉協議会が策定する第5次胎内市福祉活動計画を相互の連携を図るため、胎内市地域ちやぶ台プラン4（令和5年4月）として一体的に策定した。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大により福祉施設へのボランティアスタンプ活動はほとんど実施できなかったが、自治会等による地域の支え合い体制づくりと連携したボランティアスタンプ活動を行うことができた。</p>
-------------	---

3 施策の進捗状況

達成度	△ やや遅れている
評価の理由	各事業の年度目標に対する達成度は概ね順調と思われるが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため地域福祉懇談会を開催できなかったことはマイナス要因である。

4 取組の状況と今後の方向性

① 地域における異変発見の体制づくり

施策の内容
<ul style="list-style-type: none">・地域の異変発見の役割を担う人となる地域支え合いサポーターの養成や、地域支え合いサポーターと協力した住民による地域の見守り・サロン活動の支援を行います。・地域支え合いサポーターと民生委員、自治会・集落、老人クラブ、その他の自主グループ等の地域の主要な人材の関係づくりを支援します。・家庭を訪問する機会が多い新聞・郵便・宅配・ごみ収集等の事業者や電気、水道、ガス等のライフライン事業者、商店、コンビニ、スーパー、銀行等と、高齢者等の異変を早期に発見できるよう協力関係を築きます。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none">・救命ホルダーや救急医療情報キットの配布を行っている。・要援護者情報の登録・更新を行った。・地域支え合い体制づくり事業補助金を自治会へ交付した。・民生委員等による訪問活動を実施した。 上記の活動を行うことにより、高齢者の異変の早期発見や、緊急時の迅速な対応につながっている。 <ul style="list-style-type: none">・多世代交流対応型サロンを開設することにより、地域の関係づくりの支援につながっている。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none">・地域支え合いサポーター等を養成すると共に地域支え合い体制づくり補助事業において、住民による支え合い体制の構築を進めるため、自治会や団体等に対して支援を行う。

② 住民による支え合い活動の推進

施策の内容
<ul style="list-style-type: none">・自治会・集落等による地域の支え合いの体制づくりへの支援を継続するとともに、こうした団体と連携・協働して、空き家等を利用した子どもや高齢者の居場所づくりや、地域の福祉活動の拠点の立ち上げを推進します。・買い物や移動の支援、食事の提供といった地域の課題に対応する組織等の立ち上げを支援します。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none">・救命ホルダーや救急医療情報キットの配布を実施した。・要援護者情報の登録・更新を行った。・地域支え合い体制づくり事業補助金を自治会へ交付した。 上記活動による支え合い体制づくりの継続的な支援を行っている。 <ul style="list-style-type: none">・配食サービスの提供を行った。(ケアマネージャー等の専門職がアセスメントを行い、必要な配食数を決定している。)・ボランティアスタンプ事業は、社会福祉協議会が設置する実行委員会に補助金を交付し支援を行っている。・地域支え合い体制に取り組む自治会がボランティアスタンプと連動させて地域課題に取り組んだ。・令和4年度から、市民団体が行う地域支え合い活動に対する補助制度(合併振興基金運用益活用事業補助金(コミュニティ支え合い型))を創設した。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none">・地域支え合いサポーター等を養成すると共に地域支え合い体制づくり補助事業において、住民による支え合い体制の構築を進めるため、自治会や団体等に対して支援を行う。・住民による地域づくりのため、多世代交流対応型サロンの運営継続・配食サービス事業は、これまで市内事業者に委託していたため、他市に比べて高額なコストを投入していたが、年度途中から他市同様の専門業者を導入して1食あたりのコストを縮減したが、コロナ禍や世界情勢の変化により食品や燃料等様々なものが高騰しているため、今後は委託料や負担金についても見直しの検討が必要である。・ボランティアスタンプ事業は、地域支え合い活動の推進を図ることができることから、今後も継続する。・令和4年度に創設した合併振興基金運用益活用事業補助金(コミュニティ支え合い型)を含め市で取り組んでいる各種制度が認知されるよう、引き続き、市報やホームページ等を通じて広く周知する。

③ 複合的な課題に対応する専門的な体制の強化

施策の内容
<ul style="list-style-type: none">・地域ケア会議等の協議の場において、行政機関や地域住民、福祉事業者等の関係者のネットワークづくりと定期的な情報交換を行います。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none">・第4期胎内市地域福祉計画の策定(地域ちやぶ台プラン4)を令和5年4月に行った。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none">・令和5年4月に策定した第4期胎内市地域福祉計画の実施と検証を行う。・専門職員を配置している福祉まるごと相談窓口に住民からの相談をつなぎ、複合的な課題に対する支援体制の強化を図ります。・多世代交流対応型サロンをNPO法人ミンナのチカラに委託し引き続き開設していく。

④ 分野の壁を越えた情報交換や交流の促進

施策の内容
<ul style="list-style-type: none">・支援制度やイベント等の開催の周知を行う際には、分野の壁を越えて役に立つ情報を手に入れられるよう健康・福祉・まちづくり等の様々な分野の情報を集約して提供します。・ほかの地域の活動団体や関連する分野の活動団体と情報交換ができるような交流の場づくりに取り組みます。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none">・市報を始め、HP等に支援制度や各種イベントを掲載して市民への周知を図ってきた。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none">・現在も積極的にサロン活動等を行っている団体と連携し、地域の情報について共有していきます。

5 施策の今後の方針

<p>施策方針</p>	<p>◎拡充</p>
<p>施策方針に関する説明</p>	<p>少子高齢化や核家族化が進み、さらには個人の価値観の多様化や生活形態等の変化もあって、家庭や地域で互いに支え合う営みが弱くなってきており、共に支え合う、助け合うという社会的なつながりも希薄になってきている。加えて、高齢の親と無職で独身や障がいのある50代の子が同居することによって起きる問題（8050問題）やひきこもり、ニート、虐待、ヤングケアラー、自殺、介護と育児が同時に直面するダブルケアなどが社会問題となっている。</p> <p>高齢者や障がい者など誰もが住み慣れた地域で安心、快適に暮らし続けられるよう『楽しくふれあい、認めあい、助けあいまち たいない』という第4期胎内市地域福祉計画の基本理念の実現に向け、「地域の支え合い体制づくり」の推進を図ります。</p>

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R4		R5		達成度	今後の 方向性	担当課
		事業費	うち 一般財源	当初予算額	うち 一般財源			
230210	地域支え合い体制づくり事業	2,470	2,470	3,041	3,041	○	③	福祉介護課
230211	高齢者配食サービス事業	4,644	2,591	5,977	3,892	△	③	福祉介護課
230214	ボランティアスタンプ事業	513	513	677	677	△	②	福祉介護課
230215	シルバーステイ事業	0	#N/A	150	135	○	③	福祉介護課
230310	胎内市地域福祉計画推進事業	933	933	296	296	◎	③	福祉介護課
239910	社会福祉補助金交付事業	60,500	60,385	60,689	60,678	◎	③	福祉介護課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	230210		担当課	福祉介護課	担当係	地域福祉係	担当者	
事務事業名	地域支え合い体制づくり事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計
基本政策	2	健康・福祉	事業コード	大	23	地域福祉	款	03 民生費
主要施策	9	地域福祉		中	02	住民による支え合い活動の推進	項目	01 社会福祉費
				小	10	地域支え合い体制づくり事業	目	03 老人福祉費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令			
	法令による義務付け		任意		関連例規		関連計画	第7期胎内市高齢者保健福祉計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	高齢者や障がい者もともに安心して住み慣れた地域で生活していくことが可能となるよう、地域での支え合い体制づくりを推進することを目的とする。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 救命ホルダーや救急医療キットの配布 要援護者情報の登録・更新 地域支え合い体制づくり事業補助金の自治会への交付
実施方法	市が直接実施＋委託＋補助・負担

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	2,470	3,041			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	0	0			
一般財源	2,470	3,041	0	0	0
人件費（千円）	749	0	0	0	0
正(h) ※事業費	400	0	0	0	0
※委託料	0	0	0	0	0
※任用(h) ※業務費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	3,219	3,041	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	身元情報登録訪問調査業務委託料1,433千円、補助金478千円（地域支え合い体制づくり補助金）、多世代交流拠点施設運営委託料240千円、通信運搬費162千円（訪問調査郵送分等）、消耗品費108千円				
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	地域支え合い体制づくり補助金事業予定団体数	地域支え合い体制づくり補助金事業予定団体数	地域支え合い体制づくり補助金事業予定団体数		
	目標	7団体	5団体	5団体		
	実績	7団体				
成果指標	名称	事業実施団体数	事業実施団体数	事業実施団体数		
	目標	7団体	5団体	5団体		
	実績	6団体				
	目標比	85.7%				

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	7団体分の予算措置を行い、6団体が補助金事業を実施した。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

地域支え合い体制づくり事業補助金について、令和3年10月に要綱改正し、日常的に地域での生活を支える活動を推進していきため、活動内容を限定したうえで、過去に1度補助金交付を受けた自治会や団体等についても再度1回の交付を受けることを可能とした。
令和4年度
・地域支え合い体制づくり補助金支出額 478千円（交付6団体）
・民生委員による訪問調査件数2,606件

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	地域住民が、高齢者宅の雪かきや、除草、庭木の剪定等の支援を行っている。

7 事業の課題

自治会や団体等が地域の支え合い活動をどう立ち上げ、継続していけるか。また高齢者が高齢者を支えている状態であり、現役世代の活躍や担い手不足が課題。
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
少子高齢化・無縁化の進展、制度の狭間で支援を受けられない方の増加に伴い、地域支え合い体制・活動の必要性が重要視されている。地域支え合い体制づくり補助事業において、住民による支え合い体制の構築を進めるため、自治会や団体等に対して立ち上げ支援や継続支援については助成による支援ができる状況になりつつある。					

9 二次評価委員会所見

	今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①	
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	廃止	⑦			
	削減	縮小	維持	拡大	
	コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	230211		担当課	福祉介護課		担当係	地域福祉係		担当者	
事務事業名	高齢者配食サービス事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計			
基本政策	2	健康・福祉	事業コード	大	23	地域福祉	予算科目	款	03	民生費
主要施策	9	地域福祉		中	02	住民による支え合い活動の推進		項目	01	社会福祉費
				小	11	高齢者配食サービス事業		目	03	老人福祉費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意		関連例規		関連計画	第7期高齢者保健福祉計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	栄養バランスのとれた自立した食生活を維持していくことが困難と認められる高齢者に対し、疾病や転倒骨折の要因となる低栄養状態を改善し、健全な食生活を維持していくために必要な食事を摂取できるよう、個々の状態に応じて毎週の配食回数を定め食事（弁当）を提供する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 配食サービスの提供 ケアマネージャー等の専門職がアセスメントを行い、必要な配食数を市が決定している。 利用者負担金 350円～550円（課税状況により決定）
実施方法	委託

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	4,644	5,977				
国・県支出金	0	0				
地方債	0	0				
その他	2,053	2,085				
一般財源	2,591	3,892	0	0	0	
人件費（千円）	187	0	0	0	0	
正(h) ※事業費	100	0	0	0	0	
※委託年度任用(h) ※事業費	0	0	0	0	0	
総事業費+人件費	4,831	5,977	0	0	0	
財源「その他」内訳	高齢者配食サービス利用者負担金 2,068千円					
事業費の主な支出内容	高齢者配食サービス業務委託料 4,638千円 令和4年度末42名（普通食40名、特別食2名）					
単位コスト	算出方法	委託費（一般財源）÷利用人数=1名当りの支出額				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		61,333円				

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	年間利用人数	年間利用人数	年間利用人数		
	目標	60人	60人	60人		
	実績	42人				
成果指標	名称	在宅生活継続率	在宅生活継続率	在宅生活継続率		
	目標	90%	90%	90%		
	実績	67%				
	目標比	74.4%				

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	施設入所や入院等による利用者の減少に伴い実績が目標より下回っているが、必要とされる方に対しサービスを提供できている。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

令和5年度より配達業務を健伸びサポート隊へ業務委託するとともに配達時の異変発見体制づくりの連携も強化することができた。
令和4年度 利用人数 42人

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	調理→村上シルバーかんきち堂へ業務委託 配達→健伸びサポート隊へ業務委託（令和5年度～）

7 事業の課題

コロナ禍であることや世界の情勢変化により、食品のみならず様々な物の価格が高騰しており、委託単価の引上げや、個人負担金についても検討が必要と思われる。
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
今後も、健全な食生活を維持していくために必要な食事を摂取できるよう、配食弁当を提供する。物価やガソリン高騰に関して、今後は他市のサービス状況と比較しながら委託単価の引上げや、個人負担金についても検討が必要と思われる。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	
--------	--

今後の方向性		④	②	①
成果の方向性	拡充	×	×	×
	維持	×	⑤	③
	縮小	×	⑥	×
	休廃止	⑦	×	×
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	230214		担当課	福祉介護課	担当係	地域福祉係	担当者			
事務事業名	ボランティアスタンプ事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	2	健康・福祉		事業コード	大	23	地域福祉	款	03	民生費
主要施策	9	地域福祉			中	02	住民による支え合い活動の推進	項目	01	社会福祉費
					小	14	ボランティアスタンプ事業	目	01	社会福祉総務費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意		関連例規			関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	ボランティア活動の活性化を図るとともに、生きがいづくりに資するように、市民ボランティアにスタンプカードを発行し、活動実績に応じて商品券（地域通貨）を交付する。
主な実施内容	社会福祉協議会が設置する実行委員会に補助金を交付
実施方法	補助・負担

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	513	677			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	0	0			
一般財源	513	677	0	0	0
人件費（千円）	52	0	0	0	0
正(h) ※事業費	28	0	0	0	0
※委託料	0	0	0	0	0
※人件費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	565	677	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	ボランティアスタンプ事業補助金356千円 印刷製本費(ボランティア商品券)125千円				
算出方法	補助金交付額/ボランティア受入機関スタンプ押印数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
136円					

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	登録ボランティア数	登録ボランティア数	登録ボランティア数	
	目標	780人	795人	810人	
	実績	895人			
成果指標	名称	ボランティア受入機関スタンプ押印数	ボランティア受入機関スタンプ押印数	ボランティア受入機関スタンプ押印数	
	目標	6,000個	6,000個	6,000個	
	実績	2,626個			
	目標比	43.8%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△				
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 成果指標では目標を下回っているものの、算出指標においては目標を上回っていることから△とした。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

令和4年度	ありがとうチケット換金枚数 337枚
-------	--------------------

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	ボランティア活動の推進が目的である事業のため。

7 事業の課題

コロナ禍で活動自体の縮小や登録事業所が受け入れできない影響があるが、事業自体はボランティア活動を推進していくために必要な事業と思われる。ボランティアスタンプ事業自体の周知はされており、今後ボランティア活動が再開されることにより補助金交付による事業費支出の増加が見込まれる。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②				
コロナ禍後のボランティア活動若しくは活動の受け入れ状況がどれくらい元に戻るのか、推移を見ながら必要なPRを行っていく必要がある。					

9 二次評価委員会所見

ボランティアはしているが、「スタンプは押さなくてもよい」という方がどのくらいいるのか、受入機関から聞きとるなどして実情の把握に努めること。

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	④	②	①	
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	230215		担当課	福祉介護課		担当係	地域福祉係		担当者	
事務事業名	シルバーステイ事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計			
基本政策	2	健康・福祉	事業コード	大	23	地域福祉	予算科目	款	03	民生費
主要施策	9	地域福祉		中	02	住民による支え合い活動の推進		項	01	社会福祉費
				小	15	シルバーステイ事業		目	03	老人福祉費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意			関連法規	胎内市シルバーステイ事業実施要綱		関連計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	高齢者を介護している家族等（介護者）が一時的に介護することが困難となった場合に、被介護者を一時的に施設に宿泊させることで、介護者の負担を軽減するとともに、被介護者が適切な介護が受けられるようにする。
主な実施内容	要介護認定を受けていない見守りを必要とする高齢者の一時的な施設宿泊サービス
実施方法	

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	利用はなかったが、事業としては利用可能な体制を整えていることから達成とする。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

令和4年度	利用実績無し
-------	--------

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	0	150			
国・県支出金	#N/A	0			
地方債	0	0			
その他	0	15			
一般財源	#N/A	135	0	0	0
人件費（千円）	9	0	0	0	0
正(h) ※事業費	5	0	0	0	0
※委託料	0	0	0	0	0
※任用料	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	9	150	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容					
単位コスト	算出方法 一般財源負担額/利用者数（R4年利用者0名）				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	0円				

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	日常生活に見守りを必要とする高齢者を対象としており、受入先を福祉施設としているため。

7 事業の課題

利用者数の状況から事業の必要性が課題と感じる。

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	サービス利用者数	サービス利用者数	サービス利用者数	
	目標	3人	3人	3人	
	実績	0人			
成果指標	名称	サービス利用日数	サービス利用日数	サービス利用日数	
	目標	15日	15日	15日	
	実績	0日			
	目標比	0%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
緊急避難的な利用もあるため事業継続していく。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	成果の方向性	拡充	維持	縮小	休廃止	削減	縮小	維持	拡大
		④	②	①					
		⑤	③						
		⑥							
		⑦							
コスト投入の方向性									

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	230310		担当課	福祉介護課	担当係	地域福祉係	担当者			
事務事業名	胎内市地域福祉計画推進事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	2	健康・福祉	事業コード	大	23	地域福祉	予算科目	款	03	民生費
主要施策	9	地域福祉		中	03	複合的な課題に対応する専門的な体制の強化		項目	01	社会福祉費
				小	10	胎内市地域福祉計画推進事業		目	01	社会福祉総務費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	社会福祉法				
	法令による義務付け		努力義務+任意		関連法規		関連計画	胎内市地域福祉計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	地域福祉計画を策定し、誰もが住み慣れた地域で安心、快適に暮らし続けられる地域づくりの実現を目指すための指針とする。
主な実施内容	計画に対する実施状況の把握や進捗状況の確認
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	933	296			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	0	0			
一般財源	933	296	0	0	0
人件費（千円）	1,259	0	0	0	0
正(h) ※事業費	672	0	0	0	0
※委任(山) ※委託(山) ※業務費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	2,192	296	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	印刷製本費397千円 委員謝礼227千円 通信運搬費177千円				
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績					

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	計画策定のためアンケート実施	計画の取組状況確認	計画の取組状況確認	
	目標	1,000通	1回	1回	
	実績	1,000通			
成果指標	名称	第4期地域福祉計画策定	年度評価実施	年度評価実施	
	目標	1回	1回	1回	
	実績	1回			
	目標比	100%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎				
評価の理由	アンケート調査を実施し、それを分析した内容で計画を策定できたため。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

令和4年度はちやぶ台プラン4（第4期胎内市地域福祉計画・第5次胎内市地域福祉活動計画）を策定した。令和5年4月に市報で計画策定周知と概要版を全世帯に配布した。

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的状況	市民が各地域で行う福祉の指針を示す計画であり、計画策定・進捗状況管理については、地域活動団体の代表や自治会役員を含めた市民にも加わっていただいで実施している。

7 事業の課題

計画推進のためには人が集まれる環境や状況が必要であると感じる。コロナの状況が落ち着き、顔が見える関係性を地域の活動の中で再度作り上げていく必要がある。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
地域ちやぶ台プラン4（第4期胎内市地域福祉計画・第5次胎内市地域福祉活動計画）の進捗状況の確認や計画周知に対する取組が必要となっており、概要版を全世帯に配布するなどの取組を行ったが、地域のサロン等でも計画周知の取組を行っていく。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	成果の方向性	④	②	①
	拡充	◎	◎	◎
	維持	◎	◎	◎
	縮小	◎	◎	◎
	休廃止	◎	◎	◎
削減	◎	◎	◎	
縮小	◎	◎	◎	
維持	◎	◎	◎	
拡大	◎	◎	◎	
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	239910		担当課	福祉介護課	担当係	地域福祉係	担当者		
事務事業名	社会福祉補助金交付事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	2	健康・福祉	事業コード	大	23	地域福祉	款	03	民生費
主要施策	9	地域福祉		中	99	その他	項目	01	社会福祉費
				小	10	社会福祉補助金交付事業	目	01	社会福祉総務費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意		関連例規		関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	社会福祉法人又は社会福祉団体が行う各種福祉事業のうち、市が推進する必要があると認める公益性の高い事業に対し補助金を交付することにより、福祉の充実を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 補助金の交付 社会福祉協議会事務費補助金 50,077,000円 社会福祉協議会事業費補助金 1,992,392円 民生児童委員協議会連合会 7,327,000円 遺族会補助金 853,383円 ボランティア連絡協議会補助金 80,000円 身体障害者福祉協会補助金 110,000円 手をつなぐ育成会 40,000円 福祉タクシー利用券助成費補助金 962,660円
実施方法	補助・負担

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	60,500	60,689			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	115	11			
一般財源	60,385	60,678	0	0	0
人件費（千円）	47	0	0	0	0
正(h) ※事業費	25	0	0	0	0
会計年度 ※任用(h) 費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	60,547	60,689	0	0	0
財源「その他」内訳	社会福祉事業寄附金 115千円				
事業費の主な支出内容	「主な実施内容」のとおり				
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績					

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	補助金等交付団体数	補助金等交付団体数	補助金等交付団体数		
	目標	8団体	8団体	8団体		
	実績	8団体				
成果指標	名称	各補助事業の達成率	各補助事業の達成率	各補助事業の達成率		
	目標	100%	100%	100%		
	実績	100%				
	目標比	100%				

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	目標を達成している。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

各団体には、経費削減依頼を行っているものの、最低賃金の引上げ等による人件費の増加などがあり大幅な削減には繋がっていない。

社会福祉協議会事務費補助金
R4 50,077,000円 R5 49,640,000円

社会福祉協議会事業費
R4 1,992,392円 R5 2,202,000円

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	補助金交付事業のため。

7 事業の課題

社会福祉協議会事務費補助金については、胎内市給与規定に準じて、昇給等を行っているため、年々事業費が増加する傾向にある。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
各補助事業の補助金交付要綱に定めるところにより事業が実施され、一定の成果が収められていると認められ、交付された補助金が有効に活用されているところである。今後も各団体との協議を通じて実情を把握し、補助金の適正な交付に努めなければならない。					
社会福祉協議会や民生児童委員協議会、遺族会等、補助金がないと事業実施が困難な団体の活動経費であり、義務的経費の性格が強い。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	成果の方向性	④	②	①
	拡充	⑤	③	④
	維持	⑥	④	⑤
	縮小	⑦	⑤	⑥
	休廃止	⑧	⑥	⑦
削減	⑨	⑦	⑧	
縮小	⑩	⑧	⑨	
維持	⑪	⑨	⑩	
拡大	⑫	⑩	⑪	
コスト投入の方向性				